

秋季特別展

会期：2022.10.1^{SAT}→12.4^{SUN}

※会期中展示替えがあります。

前期：10月1日(土)～10月30日(日)

後期：11月2日(水)～12月4日(日)

休館日：月曜日(10月10日は開館)、10月11日(火)、11月1日(火)

会場：馬の博物館 第2・3展示室

主催：公益財団法人馬事文化財団

開館時間：10:00～16:30 (入館は16:00まで)

入館料：大人200円・小中高生30円

関連イベント

講演会 (内容は調整中です。決定次第HPでお知らせします)



(下・左) 狩野探信守道「巻狩図屏風」部分拡大 / (中央・右) 狩野随川岑信「曾我物語図屏風」部分拡大 (全て馬の博物館)



馬の博物館 EQUINE MUSEUM OF JAPAN

〒231-0853 横浜市中区根岸台1-3 根岸競馬記念公苑 TEL: 045-662-7581

<https://www.bajibunka.jrao.ne.jp/uma/>

Special Exhibition: Horses Painted by the Edo Kano School

江戸狩野派と馬

秋 | 季 | 特 | 別 | 展 「江戸狩野派と馬」

馬の博物館では、これまで馬の文化に関わる博物資料を収集してきました。その中には、江戸狩野派の絵師たちによる馬の絵が多く含まれています。本展では、これまで収集してきた作品に借用作品や新収蔵作品を加えて、馬が描かれた江戸狩野派作品を紹介します。

狩野派は室町幕府に御用絵師として仕えた狩野正信を祖とする画派です。江戸幕府が開かれた後、狩野探幽やその弟の尚信、安信等を中心とする狩野派絵師が江戸に拠点を移します。このときに江戸を拠点とした狩野派絵師を中心とした集団を江戸狩野派と呼びます。江戸狩野派は、江戸城の障壁画や外交儀礼の際に贈答品となる屏風の制作等の国家事業を担いました。さらに、諸国各藩の大名に仕えた藩絵師の多くも江戸狩野派に学んだ絵師たちでした。江戸狩野派は、武家政権と強く関係した画派と言えます。

また、武家諸法度に「文武弓馬の道」と記されるように、武士にとって馬は欠かせない存在でした。馬も武士の権威と強く結びついた動物だったと言えます。そのため、狩獵図や合戦図といった武士の理想像や教訓、権威を示す絵の中には馬が重要な役割を果たす画題が多くあります。加えて、狩野派は多様な画題を手がけた画派であり、人と馬の関わりから生まれた文芸作品を題材にした絵も制作しています。

本展を通して、日本最大の画派とも言える狩野派が描いた馬の絵を楽しんでいただければ幸いです。



1



2



3



4

1. 狩野派36名合作「牛馬図」の内「馬図」(個人蔵) / 2. 狩野探信守道「巻狩図屏風」部分拡大(馬の博物館) / 3, 4. 狩野随川岑信「曾我物語図屏風」部分拡大(馬の博物館)



狩野探信守道「巻狩図屏風」(馬の博物館)

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施中です。また、今後の社会情勢等により、会期及び開館時間等の記載内容が変更となる場合がございます。ご来館の際は、馬の博物館HPにて最新情報をご確認ください。

《交通のご案内》… 横浜市営バス「滝の上」下車すぐ

- JR根岸駅 2番乗り場から〔横浜市営バス21系統・桜木町駅前行〕乗車
- JR桜木町駅 6番乗り場 又は みなとみらい線日本大通り駅 1番出口 日本大通り駅 県庁前バス停から〔横浜市営バス21系統・市電保存館前行〕乗車
- JR横浜駅東口 7番乗り場 又は 京急線日ノ出町駅 日の出町1丁目バス停 又は 市営地下鉄伊勢佐木長者町駅 伊勢佐木長者町駅前バス停から横浜市営バス〔103系統・根岸台・本牧車庫前(御所山)・根岸駅前行〕乗車

